

第 231 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

- 期 日** 2010 年 6 月 25 日 (金) 13:30~17:20
- 会 場** スペース FS 汐留 [東京都港区東新橋 1-1-16 汐留 FS ビル、電話 03-3569-2371
交通：ゆりかもめ新橋駅より、汐留 FS ビル側面の階段上がる]
(<http://www.asumu.jp>)
- 開催趣旨** タンパク質や核酸などの分子は、生命活動の上で非常に重要な役割を果たしています。今回の例会では、このような分子を測定する上でのポイントやテクニック等をご紹介いただき、ユーザー様の問題解決に向けて幅広い議論ができればと考えております。
- 講演主題** 核酸分析におけるイノベーション
- 講 演**
- 講演主題概説 (オーガナイザー) (13:30~13:35) ((株)資生堂) 神田武利
1. 人工塩基対技術による標的遺伝子の検出 (13:35~14:35)
(理化学研究所 横浜研究所) 平尾一郎
 2. HPLC-Chip/MS を使用したオリゴヌクレオチドの高感度分析 (14:35~15:05)
(アジレント・テクノロジー(株)) 瀬崎浩史
休憩 (15:05~15:20)
 3. 合成オリゴヌクレオチド分離の効率化 (15:20~15:50)
(日本ウォーターズ(株)) 津田葉子
 4. HPLC および質量分析計による核酸配列解析について (15:50~16:20)
(株)島津製作所) 山田真希
 5. 核酸・核酸医薬分析専用カラム Nucleonavi の基本特性 (16:20~16:50)
(株)資生堂) 神田武利
 6. 総括「核酸分析を考える」(16:50~17:20) (東京理科大学薬学部) 中村 洋
- 参加費** LC 研究懇談会会員：1,000 円，協賛学会会員（日本分析化学会含む）：3,000 円，その他：4,000 円，学生：500 円（参加費は当日申し受けます）
- 情報交換会** 講演終了後、講師を囲んで交流会を開催します（会費 4,000 円）。希望者は必ず前もってお申し込みください（参加費は当日申し受けます）。
- 申込方法** 参加希望者は、同封の参加申込書にご記入のうえ FAX または同内容を E メールよりお申し込みください。参加証は発行致しませんので、直接会場にお越しください（定員締切後の申込につきましては後日ご連絡します）。
- 申込先** 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号
社団法人 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会
〔電話：03-3490-3351, FAX：03-3490-3572, E-mail：hm_tanaka@jsac.or.jp〕